

特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

（法第 12 条、法施行規則第 56 条）

〔PCT36 条及びPCT規則 70〕

REC'D 16 JUN 2005

WIPO

PCT

出願人又は代理人 の書類記号 3158W00P	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/J P 2004/002774	国際出願日 (日.月.年) 04.03.2004	優先日 (日.月.年) 04.03.2003
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. ⁷ A61K39/395, 38/00, 45/00, 48/00, A61P9/00, 25/00, 43/00, G01N33/15, 33/50		
出願人 (氏名又は名称) 武田薬品工業株式会社		

<p>1. この報告書は、PCT35 条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第 57 条 (PCT36 条) の規定に従い送付する。</p> <p>2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 6 ページからなる。</p> <p>3. この報告には次の附属物件も添付されている。</p> <p>a. <input type="checkbox"/> 附属書類は全部で ページである。</p> <p><input type="checkbox"/> 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙 (PCT規則 70.16 及び実施細則第 607 号参照)</p> <p><input type="checkbox"/> 第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙</p> <p>b. <input checked="" type="checkbox"/> 電子媒体は全部で ディスク 1 枚 (電子媒体の種類、数を示す)。 配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。(実施細則第 802 号参照)</p>	
<p>4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第 II 欄 優先権</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第 III 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第 IV 欄 発明の単一性の欠如</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第 V 欄 PCT35 条 (2) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明</p> <p><input type="checkbox"/> 第 VI 欄 ある種の引用文献</p> <p><input type="checkbox"/> 第 VII 欄 国際出願の不備</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第 VIII 欄 国際出願に対する意見</p>	

国際予備審査の請求書を受理した日 09.04.2004	国際予備審査報告を作成した日 03.06.2005	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/J P) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号	特許庁審査官 (権限のある職員) 川口 裕美子	4 C 9829
	電話番号 03-3581-1101 内線 3452	

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (2004年1月)

第I欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

☐ この報告は、_____語による翻訳文を基礎とした。

それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。

☐ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査

☐ PCT規則12.4にいう国際公開

☐ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☒ 出願時の国際出願書類

☐ 明細書

第_____ページ、出願時に提出されたもの

第_____ページ*、_____付けで国際予備審査機関が受理したもの

第_____ページ*、_____付けで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 請求の範囲

第_____項、出願時に提出されたもの

第_____項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの

第_____項*、_____付けで国際予備審査機関が受理したもの

第_____項*、_____付けで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 図面

第_____ページ/図、出願時に提出されたもの

第_____ページ/図*、_____付けで国際予備審査機関が受理したもの

第_____ページ/図*、_____付けで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第_____ページ

☐ 請求の範囲 第_____項

☐ 図面 第_____ページ/図

☐ 配列表(具体的に記載すること) _____

☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第_____ページ

☐ 請求の範囲 第_____項

☐ 図面 第_____ページ/図

☐ 配列表(具体的に記載すること) _____

☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

次に、当該請求の範囲に記載されている発明の新規性、進歩性又は産業上の利用可能性につき、次の理由により審査しない。

請求の範囲 20

この国際出願又は請求の範囲 20 は、国際予備審査をすることを要しない
次の事項を内容としている（具体的に記載すること）。

「明細書、請求の範囲若しくは図面（次に示す部分）又は請求の範囲 _____ の記載が、不明確であるため、見解を示すことができない（具体的に記載すること）。

☒ 請求の範囲 20 について、国際調査報告が作成されていない。

「提出されていない。」
「所定の基準を満たしていない。」

提出されていない。
 所定の技術的な要件を満たしていない。

様式PCT/IPEA/409 (第Ⅲ欄) (2004年1月)

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	1 - 19, 21	有
	請求の範囲		無
進歩性 (IS)	請求の範囲		有
	請求の範囲	1 - 19, 21	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1 - 19, 21	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

請求の範囲 1-19, 21 について

国際調査報告で提示した文献

文献 1 : 文献 1 JP 2002-500509 A & WO 98/49309 A

文献 1 には、MIP-3 α と相同性を有する ST38.2 の抗体を神経炎症の治療・診断に用いること、ST38.2 の拮抗剤・阻害剤を神経炎症の予防及び治療に用いること、アンチセンス法を用いて ST38.2 ポリペプチドに相關する障害を治療すること、ST38.2 遺伝子ポリペプチドを用いて薬物をスクリーニングすること、などが記載されている。

神経炎症を治療することによって、結果として脳・神経細胞は保護されると認められるので、「神経炎症治療剤」は「脳・神経細胞保護剤」の一種であると言える。

また、当業者であれば、ST38.2 に変えて、MIP-3 α についての抗体・拮抗剤等を用いることは適宜なし得ることである。

したがって、請求の範囲 1-19, 21 は進歩性を有さない。

第Ⅳ欄 国際出願に対する意見

請求の範囲、明細書及び図面の明瞭性又は請求の範囲の明細書による十分な裏付けについての意見を次に示す。

請求の範囲1,2,4-11, 21について

請求の範囲1は、「配列番号:2、4、または6・・・タンパク質またはその塩を抑制する物質」という所望の性質により定義された化合物を有効成分とする脳・神経細胞保護剤に関するものである。そして、請求の範囲1は、そのような性質を有するあらゆる化合物を包含するものであるが、PCT 第5条の意味において開示されているのは、クレームされた化合物のごくわずかな部分にすぎず、PCT 第6条の意味での明細書の開示による裏付けを欠くものと認められる。

また、「配列番号:2、4、または6・・・タンパク質またはその塩を抑制する物質」は、出願時の技術常識を勘案してもそのような性質を有する化合物の範囲を特定できないから、請求の範囲1は、PCT 第6条における明確性の要件も欠いている。

請求の範囲2, 4-11, 21についても、同様に、PCT 第6条の意味での明細書の開示による裏付けを欠くものと認められ、また、PCT 第6条における明確性の要件も欠いている。

配列表に関する補充欄

第 I 欄 2. の続き

1. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に必要なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、以下に基づき国際予備報告を作成した。

- a. タイプ ☒ 配列表
☐ 配列表に関連するテーブル
- b. フォーマット ☐ 書面
☒ コンピュータ読み取り可能な形式
- c. 提出時期 ☐ 出願時の国際出願に含まれる
☒ この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された
☐ 出願後に、調査又は予備審査のために、この国際機関に提出された
☐ _____ 付けて、この国際予備審査機関が補正*として受理した

2. ☒ さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。

3. 補足意見：

*第 I 欄 4. に該当する場合、差替える配列表又は配列表に関連するテーブルに "superseded" と記入されることがある。